永祥寺だより令和五年春特別号

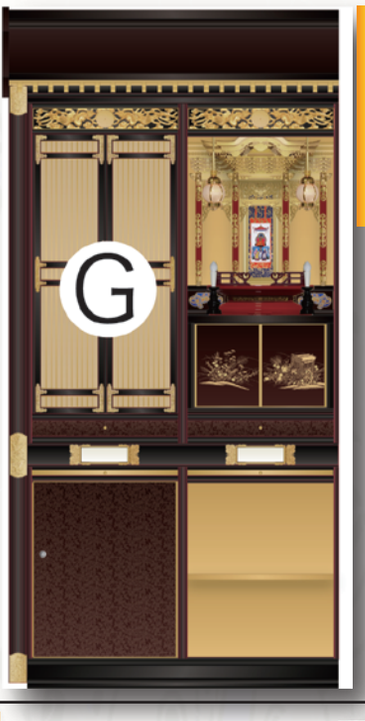
重要

建設のアンケートを同封しています。今回の内容は特にご家族ご戚へもお伝えください。

青松殿（仮称）納骨壇の紹介

大心堂利用者の引越しとともに四種類の納骨壇を新設します。新設する個数は同封のアンケートを参考に決定します。

Gの壇



高さ：２２５cm　内部の幅：５０cm
納められる骨箱の数：１２
利用恩金：１３０万円（予定）
白山堂の一階と二階にある一段ものと同じ大きさなので金額も同じと考えています。

Hの壇

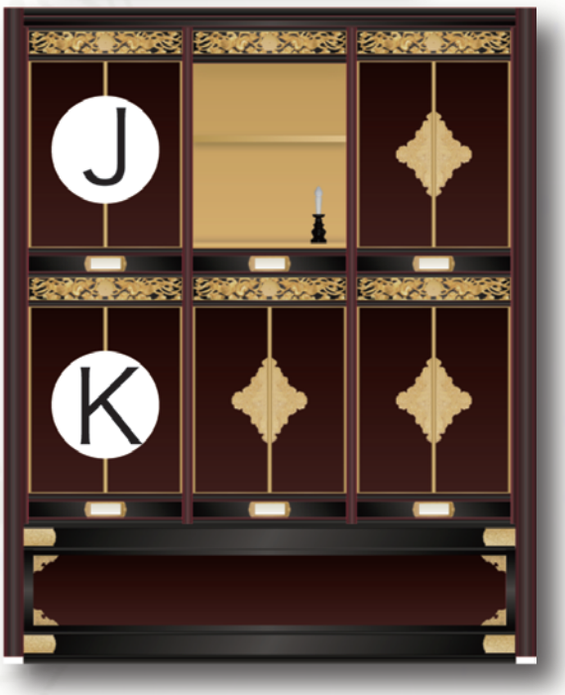
高さ：２００cm　内部の幅：３５cm
納められる骨箱の数：６
利用恩金：４０～５０万円（未定）
永祥寺にはこれまで無かった細型の一段です。お遺骨は奥と手前で二体置くことができ、三段で計六体を納めることができます。

利用恩金が未定なのは

原価が生産個数によって決まるためです。多く作るほど安くなるそうです。また、建設開始が二〇二五年の予定ですのでその時の物価の影響を受けます。まずは生産個数を決めるため、同封アンケートへのご協力をお願いします。

Jの壇

Kの壇



高さ：２００cm　内部の幅：５０cm
納められる骨箱の数：４
利用恩金：２０～３０万円（未定）
二段の上部は三段の上部と比べると位置が低くお参りがしやすくなります。また底上げをしており下段でも使いやすく配慮した構造です。

壇の中がいっぱいになったら

小さな骨箱に納めなおし、入りきらなかった遺骨を合葬墓に納めれば空きを作ることができます。合葬墓は大心堂1階にあります。合葬墓も新納骨堂に移設予定です。